

# 平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 57

評価2 ハード

## 1 事業名等(Plan 1)

事業名	交通安全施設整備事業											
所属名	基盤整備部 維持課 管理グループ											
第七次総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	分野	9	安全	基本 施策	1	日常生活における安全を確保する	施策	3	交通安全対策の充実
予算科目	7	2	4	交通安全対策	費	72400	交通安全施設整備	事業				
					費			事業				
					費			事業				
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等												
事業の実施主体 <input type="radio"/> 市 <input type="radio"/> 市以外→												
事業の実施方法 <input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 指定管理 <input type="radio"/> 業務委託 <input type="radio"/> 団体等補助 <input type="radio"/> その他→ <input type="radio"/> 工事請負												

## 2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	道路交通網の利用者	受益者数	一人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	交差点等、交通事故の危険性がある箇所に交通安全施設を設置し事故防止を図る。		
概要	事業の実施手法、手順	道路反射鏡・ガードレール・転落防止柵・道路照明・道路区画線等の新設・修繕・改修を行う。		
概要	事業始期・終期	始期	年度から	始期
概要	今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 危険箇所を精査し緊急性・危険性の高いものより整備を行う。		

## 3 事業費の推移・結果(Do)

### (コスト面)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総合計画計画額(当初)		20,000	20,000	32,000	30,000	30,000
総合計画計画額(計画額)		20,000	20,000	32,000	30,000	30,000
事業費	予算額	68,851	97,000	32,000		
	決算・見込	67,208	94,861			
財源	国庫支出金			10,000		
	決算・見込		64,836			
地方債	予算額					
	決算・見込					
受益者負担	予算額					
	決算・見込					
繰入	予算額					
	決算・見込					
一般財源	予算額	68,851	97,000	22,000		
	決算・見込	67,208	30,025			
H17国勢調査 96,231人 32,174世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価						
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費) 単位 %	-	-	-	-	-
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口) 単位 円/人	698	986			
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯) 単位 円/世帯	2,089	2,948			
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標) 単位 円/人					
↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)						
	単位 円/人					
	単位 円/人					

### (成果面)

活動・成果指標	活動指標 (投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)	指標名	整備件数	資料・出展算出式					単位	件
				平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
活動指標	目標値		40	40	40	40	40		→	
	実績値	70	48							
	達成率									
成果指標 (活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたのかを表す指標)	指標名	整備件数(累計)							→	
	資料・出展算出式									
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度			
成果指標	目標値		40	80	120	160	200			
	実績値	70	48							
	達成率		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

## 3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	
	事業費	千円
	(内容)	
	その他	
本年度	対象・手段	町内要望等を中心に危険箇所を整備 道路反射鏡・ガードレール・転落防止柵・道路照明・道路区画線・交差点点滅灯
	事業費	32,000 千円
	(内容)	
	その他	
本年度までの実績(累計)	対象・手段	
	事業費	千円
	(内容)	
	その他	
受益者負担	対象・手段	
	受益者負担	千円
	(内容)	
	その他	

## 【成果面】

項目	評価内容(算定式)			進捗率
	整備状況	整備見込	整備目標	
本年度	整備状況	300	1,500	20.00
	整備見込	300	1,500	20.0
本年度までの累計	整備状況	32,000	152,000	21.1
	整備見込	32,000	152,000	
事業の進捗率の考え方				
進捗結果・理由				
<input type="radio"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 未達成 該当項目に「○」表示				

## 4 分析・評価(Check)

**①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)**

(現状及び判定理由) 危険箇所毎の状況にあった施設整備をすることにより交通安全が図られた。

判定:  A:非常に高い  B:高い  C:低い  D:非常に低い

目的評価: **A**

---

**②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)**

該当項目「1」入力(注:平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

減少	維持	増加
		1

(判定理由) 町内からの新設・修繕要望箇所数が増え、事業規模の拡大やモデル事業(太陽光発電による照明等)を実施したことで事業費の増加が見られた。

---

**③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)**

該当項目「1」入力(注:平成20年度から平成22年度第一四半期までの推移から判断)

拡大	維持	減少
1		

(判定理由) 安全施設の整備促進が図られ利用者の安全が確保された。

コスト・成果ポジション: **C**

第3水準

---

**一次評価 主管課**

評価区分: **III**

判断の理由及び課題問題点  
 ・利用者の交通安全を確保するためには必要性は高い。  
 ・資材・工法や維持管理費の軽減など多方面にわたり工事について検討する。

## 5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり <input type="checkbox"/> 改善・継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/>
活動の方針	イニシャルコストのみならず、メンテナンスフリーや光熱費の縮減などによるランニングコストや環境への配慮などを考慮した新しい工法・資材の検討・選択を行う。
次年度実施方針	事業を進める一方、コスト縮減を図るため資材の再利用や新しい製品の採用等の検討を行う。

総合評価		
コスト	成果	評価区分
中	中	III
「II」以上の水準に向けた改善が必要		
町内要望により設置した施設等については、地域ぐるみで安全を確保するという観点から、維持修繕に対し協力を求めるなど市民との協働による施設管理を行っていく必要がある。		